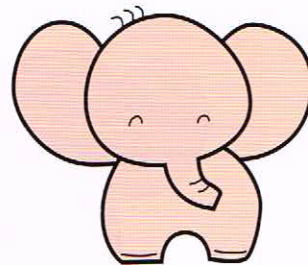


第13回 小象の会 生活習慣病予防治療フォーラム



特別企画

望月友美子・前世界保健機関たばこ規制部長に聞く
「たばこの害を知ろう!!」

「たばこの害から身を守るには?子どもたちをどう守るか?」

プログラム

総合司会 釧持 登志子 理事

15:00/開 会：開会挨拶 篠宮 正樹 理事長 (西船内科院長)

15:10/講 演：座 長 栗林 伸一 副理事長 (三咲内科クリニック院長)

『たばこに起因する病気の様々』

演 者 内田 大学 理事 (ほたるのセントラル内科院長)

16:00/休 憩

16:10/特別講演：座 長 井上 肇 氏 (厚生労働省官房企画官)
(前千葉県健康福祉部保健医療担当部長)

『世界のたばこ対策の現状と将来』

演 者 望月 友美子 氏 (国立がんセンター研究所がん対策情報センターたばこ政策研究部長)
(前世界保健機関たばこ規制部長)

17:10/休 憩

17:20/講師・座長と参加者による質疑・討論

17:40/閉 会：閉会挨拶 田畑 陽一郎 氏 (千葉県医師会副会長)

主 催：NPO法人小象の会
(正式名称：生活習慣病防止に取り組む市民と医療者の会)

日 時：2013年2月9日(土)午後3時～5時45分
(2時30分開場)

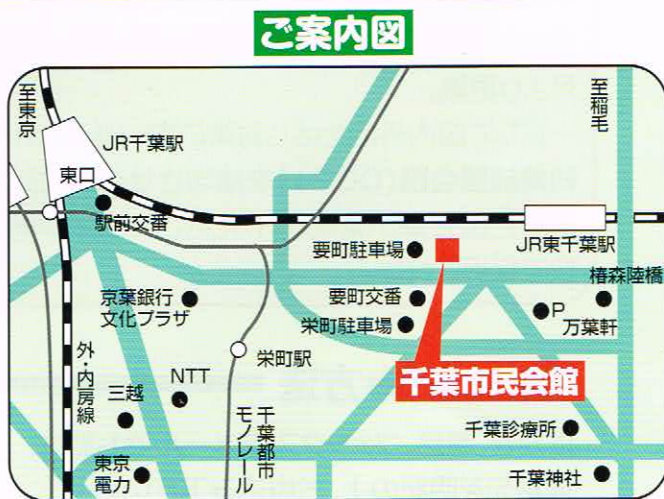
場 所：千葉市民会館小ホール
千葉市中央区要町1-1 JR千葉駅から徒歩7分

電 話：(043)224-2431

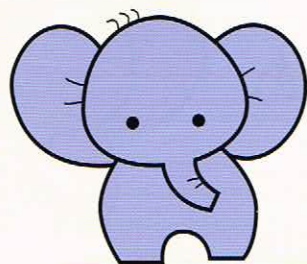
参加費：無 料

定 員：250人(申し込み順)

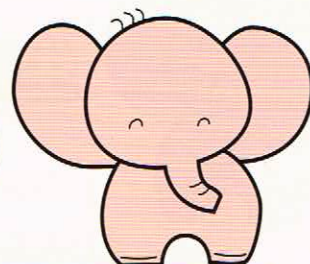
お申し込み方法は裏面へ



後援：千葉県／千葉県教育委員会／千葉市／千葉県医師会／千葉市医師会／千葉県歯科医師会／千葉県薬剤師会／千葉県看護協会／千葉県栄養士会／千葉県臨床検査技師会／日本糖尿病協会千葉県支部／千葉県糖尿病対策推進会議／新世紀ちば健康プラン推進協議会／千葉日报社(一部団体は現在申請中)



特別企画趣旨



たばこの害は極めて大きく、子供を含む10億人の生命を脅かしています。虚血性心疾患、脳血管疾患、肺がん、慢性閉塞性肺疾患など**主要死亡原因8項目のうち6項目の危険因子**であり、既に**世界中で年間540万人の命を奪い**、このまま何の対策も講じなければ2030年までに、たばこによる**死亡者は年間800万人**に達してしまいます。

たばこの害は、**適切かつ有効な対策によって予防可能**であり、公衆衛生上及び政治的に**最優先課題**として位置づけられるべきです。このことについての世界のコンセンサスは、「**たばこの規制に関する世界保健機関枠組み条約(FCTC)**」

- ・受動喫煙の防止措置
 - ・主要表示面の30%以上を健康被害の警告にあてる
 - ・広告・販売促進の禁止または制限
 - ・未成年者への販売禁止のための効果的な措置
- などを内容としている。

の176か国・地域の締約国によって既に確立されています。

このようなコンセンサスに基づき、世界では非常に積極的に取り組んでいる国もありますが、そうでない国々も多く、残念ながら我が国、日本もその一つです。今回の企画は、そのような世界の現状を**たばこ対策の世界的権威である望月友美子先生**にお聞きし、我が国における今後の取組みについて皆様と共に考えようとするものです。

望月友美子氏の略歴等

東京大学薬学部卒業、慶応義塾大学医学部卒業・同大学で医学博士、国立がんセンター、国立公衆衛生院を経てWHO(世界保健機関)のたばこ規制部長、同事務局長代理・特別顧問、2007年10月より現職。

一貫して国内外のたばこ対策に取り組み、WHOたばこ規制部長として、**第1回たばこ規制枠組み条約締約国会議(COP1)を成功させた**。なお、2012年11月12日から6日間、ソウルにおいて第5回締約国会議が開催され、たばこの密輸や偽造などの不法取引を防止するための議定書が全会一致で採択された。

お申し込み方法

はがき、電話、ファックス、Eメールで右記に、連絡先を明記の上、お申込み下さい。

(定員を超えた場合にのみ、ご連絡します。)

小象の会事務局

〒260-0808

千葉市中央区星久喜町946番地の7

電話:043-263-1118

F A X:043-265-8148

e-mail:naika@2427.jp